けいあい保育園運営の基礎知識

2022.9.22

保育方針の作成基盤

2018 年、保育所保育指針・幼稚園教育要領・こども園保育教育要領の３法令が同時改訂。
大池の設置提案時、福岡市から保育方針•計画に保育指針の改訂内容を反映する事を要求される。

2018 保育指針改訂のポイント３つ

汐見稔幸（東大名誉教授）解説

1. 養護の大切さが強調された！　１人を大事に！ 行き届いた養護、安心の環境を！
2. アクティブラーニング（主体的で対話的な深い学び）を通して子どもの資質と能力の育ちを支える。実効性を上げるためのキーワードは「共有」「連続」「可視化」
3. 計画と評価：PDCA サイクルを活かし、保育の質の向上を目指し、改善を重ねる。
   個人の経験や価値観、努力でなく、園全体で取り組めるよう、施設長等が組織的マネジメントを！

新設園としての具体的取組み

1. 養護の実践：理念＝人権に配慮し、一人ひとりの人格を尊重する。
2. 担当制保育：PDCA と保育の可視化のために日課表作成。（組ごと、随時）
   日々の一人ひとりの育ちや課題を共有し、計画・実践・評価：昼礼・カンファレンスを実施。
3. アクティブラーニング：子ども主体の保育を進めるために
   保育計画や行事計画、準備を子ども主体の話合いですすめる。園内研修、事例検討会開催。
   （R3 大池の運動会等を見ていただき、参考にしていただいた。）
4. 園全体の組織マネジメント：年齢ごとの保育ポイント、日課表の作成。
   保育内容、行事のすすめ方等については今後の園長会、主任会の開催検討。
   「機微を見つめる」を教科書として「子どもの心が育つ保育」を目指す。
5. サポート保育児の捉え方、保育のすすめ方について可視化：保護者支援　専門機関との連携。
   ・遠城寺式発達検査・衝動性・多動性・感覚過敏性をチェックして保育計画～発達支援へ
6. 理念・方針の共有：３園合同研修　園長・主任会議　クラス別交流研修（事例検討会）
   安心して失敗できる毎日を子どもにも大人にも保障できる関係づくり。
7. 職場内環境の整備：時間内の業務完結。時間や業務割り振りを職員間で行う。
   教材等の個人手出しは無しとする。計画的な保育実践と物品購入。

実質的成果としてつなぐための課題

1. 情緒の安定のため「おどさない　せかさない　比べない　叱らない」を実践すること。
2. 各組ごとに、日課表、保育計画等のプラン作成を励行すること。
   日々の保育士の困り感、課題を共有し、明日の保育目標「ねらい」につなぐこと。
3. 職員間の同僚性を高め、目的に向かって職責等を越えて本音で話し合うこと。
   自分の弱点や失敗談・本音を出し合い、言い訳せず逃げずに本題に向き合うこと。
4. 子どもたち（職員）の話合いに信じて任せること。
   あたりまえが違うことをていねいに確認すること。答えを言わず、信じて任せて待てること。
5. さぽーと保育の充実のため、子どもの困り感を保護者と共有できる対話力を向上させること。
   障がいや困り感を可視化して、要支援へつなぐ手法を習得すること。